

小児矯正のリスクと副作用

矯正装置が直接的な原因となるもの

・矯正治療中に装置が当たることで頬の内側に傷がついたり、口内炎になったり、歯の移動に伴う痛みを感じることもありますので、必要に応じ歯科矯正用ワックスで対処する場合やその他の対処策を行う場合があります。・滑舌が悪くなる場合もありますが、しばらくすれば慣れることが多いです。・矯正装置を装着した直後や、ワイヤーを交換した直後に痛みを感じる場合がありますが、数日でおさまる場合があります。また、冷たいものを飲んだときにしみる「知覚過敏」があらわれる場合がありますが、基本的には数日で改善されます。長期間痛む場合は、歯科医師に相談してください。

金属アレルギー

・多くの場合、矯正装置には金属素材が使用されています。金属アレルギーのある方、不安がある方は、皮膚科で行われているパッチテストなどをうけて、アレルギー源を特定し、歯科医師に伝えてください。矯正装置を装着したあとに、皮膚や口腔の粘膜にアレルギー症状が起きた場合は、速やかに歯科医師の指示を仰いでください。

抜歯・麻酔

・矯正をしたい箇所に十分なスペースがない場合は、抜歯を必要とすることもあります。必要があれば、そ

れ自体には健康上問題のない歯を抜く場合もあります。・抜歯する場合は麻酔注射を行います。麻酔薬の中には、成分に心拍数、血圧を上げる作用があるものもあるため、心臓や血圧に問題がある方が使用すると、動悸、血圧上昇を起こす場合があります。また、麻酔が効いている最中は、頬を噛んだり、熱いものを飲んだりしてもわからないため、口腔内を傷つけるリスクがあります。さらに、麻酔によって悪心、嘔吐、アレルギー反応が起こることもあります。抜歯に関する注意点は、担当医によくお聞きください。

虫歯・歯周病

・矯正治療中、矯正装置の周りなど、ブラッシング（歯磨き）しにくい部分ができるため、虫歯や歯肉炎、歯周病のリスクが高くなります。間食を控え、矯正治療中に合ったブラッシング指導を歯科医師より受けて、毎日丁寧なブラッシング、歯を清潔にしてリスクを抑えましょう。また、歯科医院において、歯のクリーニングやフッ素塗布などのケアをすることも役立ちます。・矯正中に虫歯などが生じた場合は、もしくは、矯正中に器具を一度外して治療を行う、または矯正終了後に虫歯の治療をする必要が生じることがあります。・基本的に、矯正中には完全には虫歯や歯周病の治療が行えないことがあります。そのため、これらの治療が終わってから歯科矯正を開始することもあります。また、かかりつけの一般歯科医院で、事前に虫歯、歯周病などの治療を行うことが必要な場合があります。

ます。

治療終了後

・矯正終了後に矯正箇所が元に戻る場合（後戻り）があります。その程度には個人差があります。・歯科矯正が終了して数か月から数年経過すると噛み合わせが悪くなる場合があります。噛み合わせが悪くなると、咀嚼障害、頭痛、肩こりを招く事があります。また、噛み合わせのバランスが崩れることで、開口障害や、顎関節症を発症する場合があります。他にも自律神経失調症になることがあります。噛み合わせが原因の場合は、噛み合わせの治療が必要になることがあります。

その他

・個人差がありますが子供にとって大きなストレスになる場合があります。装置装着後もしっかりと状況を聞いて話し合ってください。・矯正中、頭痛、首や肩のこり、強い倦怠感、吐き気、不眠など不定愁訴が起こることがあります。その場合は、鎮痛剤、吐き気止め等、歯科医師の指示のもと服用してください。・治療の経過と治療後の見た目に個人差が大きくあらわれる治療です。また、歯科医師との見解の相違も起こりえます。歯科医師とよくご相談ください。・治療中に、歯の根が短くなる「歯根吸収」が起こるリスクがあります。これには歯根の形態や、歯根の周りの骨の状態など、様々な原因があります。・歯や骨の状態、歯の動きを妨げる癖があった場合、虫歯や歯周病の発生など、治療計画よりも治療期間が長くなる場合があ

ります。・矯正治療では、歯肉が下がる場合（歯肉退縮）があります。特に切歯（せっし：上下前歯各4本）、歯の凸凹が大きい患者様の場合、発症する事があります。・歯列矯正中に顎の成長が生じるため、一時的に歯並びやかみ合わせが悪い状態になることもあります。・大人になってから再度矯正（2期治療）が必要になることがあります。・定期的な通院などにご協力いただけない場合、治療の結果や期間に差が出る場合があります。・治療期間には個人差があります。・固いものが一時的に噛みにくくなることがあります。また、ガムや餅など、装置に引っかかるものが食べにくくなることもあります。・装置が壊れることがあります。・装置が壊れることがありますが、その際は歯科医師に相談してください。・個人差がありますが、矯正装置にかなりのストレスを受ける患者さんもいます。・矯正中は、器具を装着するため、食べかすが詰まりやすく虫歯、歯周病を生じやすくなります。・虫歯や歯周炎が発生すると一旦、装置を取り外して歯科医院で治療をする場合があります。・取り外しできる矯正装置や補助装置の装着時間を守れない場合や、定期的な来院ができない場合は、治療期間が延びることがあります。・特殊な噛み合わせ、骨の硬さ、歯のかたちの場合は、治療期間が長くなる場合があります。・舌で歯を押し癖など、歯並びに悪影響をあたえる癖が改善されない場合は、治療期間が延びることがあります。・矯正治療で歯を動かして歯並びを整える「動的治療」を終えて歯並びが改善されても、まだ歯が元の位置に戻ろうとす

る傾向があるため、一定期間動かした歯を正しい位置にとどめておく＜保定＞が必要です。歯の位置が安定するまでの保定期間には個人差があるので、治療後も歯科医師の指示を守ってください。